

学校(教授)推薦

大学と企業の信頼関係のもとに生まれた「学校推薦」というシステムは、学校の推薦をもらったうえで企業を受験することです。学生は求人票に指定されている学内締切日までにゼミや卒論の指導教員、学科の就職担当教員に申し込み、学内選考を受けます。学内選考の可否には、学業成績、求人条件、適性などが総合的に勘案されます。学校推薦で受験しても絶対に合格するという保証はありませんが、有利であることは確かです。

○推薦の応募は、スケジュール等をよく確認して、時期を逃さないよう注意しましょう。

○学校(教授)推薦で受験した企業に内定をもらった場合、辞退することはできません。応募する前に、指導教員や各学部の就職担当教員や家族と十分話し合っ、入社を意思を固めておきましょう。

Uターン・Iターン就職

「Uターン就職」は、地方出身者が地元に戻ってする就職で、「Iターン就職」は都市出身者が地方企業を狙うパターンです。つまり、どちらも地方企業への就職を希望するということです。

1.地方Onlyの場合

大都市の就職活動が思い通りにいかないから地方企業をねらおう…こんな甘い考えは通用しません。一般的に、地方企業は採用人数が少なく、なかには大都市からのUターン学生を積極的に採用しようという企業も見られます。早期から就職活動を行っているUターン学生も皆さんのライバルとなります。

2.早めの就職活動

地方企業も大手か中小かで多少異なりますが、基本的には大都市のスケジュールに合わせるかたちで採用活動を行っています。3月からの合同企業説明会・会社説明会に参加し、それぞれの企業のスケジュールに合わせ余裕をもってエントリーするようにしましょう。

3.地方企業の情報の集め方

地方企業の情報は次の方法で収集できます。

- 就職支援センター
- インターネット
- 学生職業センター
- 地元新聞の求人案内
- 地元大学に通う友人
- 地元のハローワーク
- 地元大学の就職課
- 地元の商工会議所

※地元企業の合同企業説明会のポスター掲示に注意しましょう。

